

## 第2学年 音楽科学習指導案

音楽科研究室

- 1 題材名 いい音をみつけてあそぼう
- 2 教材曲 「虫のこえ」(文部省唱歌)  
「シンコペーテッドクロック」(アンダソン作曲)  
音探し  
「かぼちゃ」(桑原ほなみ:作詞 黒沢吉徳:作曲)

### 3 指導観

○本学級の子どもたちは、歌を歌ったり、楽器を演奏したりすることが大好きである。また、日常の音楽活動において、歌に合わせてリズムをとったり、音楽を聴きながら拍子に合わせて体を動かしたりするを経験してきている。特に鑑賞の授業では、「トルコ行進曲(ベートーベン作曲)」「メヌエット(ヘンデル作曲)」の学習において、2拍子、3拍子の曲の違いを、指揮をするという身体表現を通して感じ取ることができた。

しかし、音そのものに着目したり、楽器の音色の違いを感じ取ったりする経験はまだ浅く、関心が薄い。

○本題材は、楽器の音色や響きの違いを感じ取ったり、奏法の変化によって音色が変わっていくことを感じ取ったりすることに重点を置いている。

「虫のこえ」は、いろいろな秋の虫が登場してきて、様々な鳴き声が出てくる。それぞれの虫の鳴き声の違いや特徴を感じ取りながら、歌うことができる曲である。

時計を題材にした「シンコペーテッドクロック」は、ユーモラスな曲想をもつ音楽である。オーケストラの楽器に混じって、ウッドブロックやトライアングルの音などいろいろな音がきこえてくるため、子どもたちは親しみをもって鑑賞できると考える。音探しは、実際に身近な楽器の音探しをしながら、身近皮、金属、木でできたものに分類し、楽器への理解を深めていくものである。

「かぼちゃ」は、打楽器や身の回りのものでつくった音を、歌と合わせて楽しむことのできる教材である。これまでの学習を生かし、音のリズム表現とともに、自分で見つけた音を取り入れながら演奏する楽しさを味わえるものとする。

### ○楽曲分析

#### 「虫のこえ」

曲想：虫のなき声が擬音語で表現されており、日本の秋を味わいながら歌うことができる曲



歌詞：虫の音がきこえた驚きや様々な虫の鳴き声、その情景への想いが、簡潔な言葉で表現されている。

リズム：八分音符が連続する単調なリズム  
拍子：4分の2拍子  
調：ハ長調  
唱法：レガート唱  
強さ：mp - p - mf - mf - f  
速さ：四分音符 = 76 ~ 84

「かぼちゃ」

曲想：一人では運べない大きなかぼちゃを動かすために、人が集まってくる様子を言葉反復を生かしながら、8拍のリズムで表した曲



歌詞：大きなかぼちゃを動かすために、人が集まってくる様子を表現している。  
リズム：八分音符が連続する単調なリズム  
拍子：4分の4拍子  
調：ハ長調  
唱法：レガート唱  
強さ：mf - f  
速さ：四分音符 = 100 ~ 108

「シンコペーテッド クロック」

曲想：変則的で愉快的な時計の様子をユーモラスに表現している。



形式：前奏 - A - B - A - 後奏（複合三部形式）  
リズム：シンコペーションのリズム

旋律：前奏 - 打楽器

A - 弦楽器による、伸びやかな旋律

B - 金管楽器による軽快な旋律

後奏 - 打楽器

拍子：4分の4拍子

調：A ニ長調

B ト長調

奏法：前奏 - ウッドブロックがスタッカートで演奏される。

A - 弦楽器を中心に、スタッカートで演奏される。

ウッドブロックがときおりシンコペーションのリズムを刻んでいる。

B - 金管楽器が加わり、木管・弦楽器でスタッカート演奏される。

ウッドブロックの音に加わり、ベル（トライアングル）の音があらわれる。

後奏 - ウッドブロックが細かいリズムを演奏し、さらにカウベルとホッスルの音も加わる。

音色：前奏 - ウッドブロック

A－バイオリンを中心とした弦楽器，オーボエ，クラリネット， ウッドブロック B－金管楽器，弦楽器，ベル（トライアングル） 後奏－カウベル，ホッスル，ウッドブロック 強 さ：p－mf－f－mf－mp－p－mf 速 さ：Moderately
---

教材解釈

構成要素	曲想	
	描写音楽で，変則的で愉快的な時計の様子を表現している。	
	リズム	音色
	4拍子の軽快なリズムが，時計の「チック・タック」と刻まれる時計の秒針を表現している。また，時々シンコペーションのリズムで表れることで，不規則な秒針の様子を表現している。	ウッドブロック，ホイッスル，カウベルやトライアングルの音色が，壊れかけた目覚まし時計の音を表現している。

本教材で期待できる学習内容

手がかり	学習内容
曲想	不規則に刻まれる時計の秒針を模した音を，楽しみながら身体表現する。
音色	オーケストラに混じって，秒針を表現しているウッドブロック，目覚ましのトライアングル，時計がこわれていく様子を表したカウベルやホッスルの音色がわかりやすく表現してあるので，それぞれの音色の違いを聴き取る。
リズム	規則正しい八分音符に，ときおり変則的なシンコペーションのリズムが使っているため，愉快的な時計の様子をとらえる。

○本題材の指導にあたっては，つかむ段階で，「虫のこえ」を学習し，虫の鳴き声にも様々であることをとらえさせる。その際，写真を提示したり実際のなき声を聴かせたりして，虫の鳴き声に関心を持って歌うことができるようにする。

次に深める段階では，「シンコペーテッドクロック」を聴かせる。ここでは，オーケストラの楽器に混じって演奏されるウッドブロックやベルの音に着目させていく。その際，いろいろな楽器の音に着目させるために，曲で使われている楽器を実際に鳴らしたり，提示したりする。また，曲を聴かせる中で，ウッドブロックが時計の秒針を表していることをおさえていく。さらに，時計の針の音にあわせて身体表現させていくことで，時計の調子がおかしくなっていくことをとらえさせ，リズムの変化や楽器の音色に着目させていきたい。

音探しでは，いろいろな楽器や身の回りの素材を使って，簡単なリズム遊びをさせていく。その際，材質の違いや音の出し方にも着目させ，音色の特徴や違いに気づかせていく。

味わう段階では，音探しでみつけた音をもとに，「かぼちゃ」を演奏したり歌ったりさせる。このとき，身近な打楽器や身の回りのものを組み合わせたり工夫させたりして，音に対する感覚を豊かにしていきたい。

#### 4 指導目標

- いろいろな音や響きに関心を持って聴いたり，進んで音を探したりしようとすることができる。（音楽に対する関心・意欲・態度）
- 音色の違いを感じ取って身体表現をしたり，音色の違いを生かして音の組み合わせ方を工夫したりすることができる。（音楽的な感受・表現の工夫）
- 拍の流れにのって演奏することができる。（表現の技能）
- 音や音色の違いを感じ取りながら聴くことができる。（鑑賞の能力）

#### 5 指導計画（7時間）

段階	配時	主な学習活動と内容	教師の支援
つかむ	1	1 いろいろな虫のなき声について話し合う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○子どもたちのイメージを自由に出させる。</li> <li>○挿絵を用意する。</li> <li>※虫の鳴き声に関心を示している。関</li> </ul>
		<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">いろいろな虫のなきごえを，声であらわしてうたおう</div> 2 範唱を聴き，模唱する。 3 虫の鳴き声の歌い方を工夫する。 4 ‘あれ’や‘ああ’などの歌詞の気持ちを生かした歌い方を工夫する。 5 秋の夜の情景や虫の声を思い浮かべながら歌う。	
深める	1 本時	1 「虫のこえ」を歌う。 2 「シンコペーテッドクロック」を聴き，どんな音がきこえたか発表する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○前時で学習したことを振り返らせる。</li> <li>○自由に聴かせる。</li> <li>○自由に出させる。</li> <li>○時計の秒針の音に着目した発言がでたら，曲名が時計の音楽を表していることを知らせる。</li> <li>※音楽から聞こえてくるいろいろな音に関心を示している。関</li> </ul>
		<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">時計の音やいろいろな音に気をつけてきこう。</div> 3 時計の音が演奏されていることを確認しながら聴く。 4 時計の音が，どんな楽器で演奏されているかを考える。 5 ウッドブロックを演奏するまねをしながら聴く。 6 シンコペーテッドクロックの時計はどんな時計か考える。	

	<p>7 演奏している映像をみて、楽器の演奏のまねをしながら聴く。 8 時計の音やいろいろな楽器の音に気を付けて聴く。</p>	<p>○ウッドブロックや他の楽器を演奏するまねをさせたりして聴かせる。</p>
<p>1</p>	<p>1 「シンコペーテッドクロック」を聴き、どんな音がきこえたかを思い出す。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin: 5px 0;"> <p>いろいろな音をききながら、時けいのこわれていくようすを思いうかべてきこう。</p> </div> <p>2 時計の歌（主旋律）を歌う。</p> <p>3 主旋律を歌いながら、曲全体をきく。</p> <p>4 曲全体の構成を知る。</p> <p>5 演奏されている楽器を指さしながら聴く。</p> <p>6 いろいろな楽器の音に気をつけながら、曲全体を聴く。</p>	<p>○楽器の写真を準備しておく。</p> <p>○主旋律に合わせて、「ぼくは、目覚まし時計、はやくおきてください」という歌詞をつけ、歌わせる。</p> <p>○主旋律を歌いながら、歌えるところ（A）と歌えないところ（B）があり（A）にもどることに気づかせる。</p> <p>○板書に気を付け、視覚的にA－B－Aの流れが分かるようにしておく。</p> <p>○主な楽器を書いたワークシートを提示しておき、見つけた音がどれかを示して楽器と音色をつなぐようにする。ワークシートの楽器を指さすようにさせる。</p> <p>○弦楽器や金管楽器の音色にも着目させる</p> <p>○身体表現させたり、主旋律を歌わさせたり、自由に聴かせる。</p> <p>※音色や響きの違いを感じ取りながら聴いている。☑</p>
<p>1</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin: 5px 0;"> <p>いろいろな音をさがそう。</p> </div> <p>1 いろいろな打楽器の中から好きな音を見つける。</p> <p>2 選んだ打楽器ごとにグループを作り、演奏する。</p> <p>3 皮・木・金属を使った楽器の音の響きの違いに気をつけて聴く。</p> <p>4 グループごとに奏法を工夫する。</p> <p>5 手作り楽器について知る。</p>	<p>○あらかじめ打楽器を用意しておく。</p> <p>○自由に選ばせる。</p> <p>※音色の違いに興味を持ち、進んで音探しをしている。☑</p> <p>○選んだ楽器ごとに分け、リズムうちをさせる。</p> <p>○子どもたちの選んだ楽器から、それぞれの音色の特徴別に分け、板書していく。</p> <p>○たたき方、振り方、強さによって音色が変化することに気づかせる。</p> <p>※音の響きの違いを感じ取って、音の出し方を工夫している。☑</p> <p>○手作り楽器をいくつか用意しておく。その際、材質や中身も工夫し、次時まで用意しておくよう伝える。</p>
<p>1</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin: 5px 0;"> <p>みつけた音をならしてみよう。</p> </div> <p>1 自分の用意してきた楽器の音を確認かめる。</p>	<p>○どんな入れ物か、どんな中身なのか、どんなふうに演奏するのかを紹介させる。※様々な</p>

	<p>2 用意してきた楽器を紹介し合う。 3 気に入った楽器を使い、リズムうちをする。</p> <p>4 クラス全員でリズムうちをする。</p>	<p>楽器や音色に関心を示している。㊦ ○素材別に板書していく。 ○手作り楽器か既成の打楽器がを選択させ、かんたんなリズムうちをさせる。 ※音の出し方を工夫しながら、拍の流れによって演奏している。㊦ ○一人ひとりが演奏していく。</p>
味 わ う	<p>1 1 「かぼちゃ」の範唱をきく。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;">歌ったり演奏したりして、「かぼちゃ」がうごくようすをあらわそう。</div> <p>2 「かぼちゃ」を歌う。 3 リズムうちのパートを手拍子で打つ。 4 リズムうちのパートを、自分で選んだ楽器で演奏する。</p>	<p>○話し言葉になる部分や、歌がなくなって楽器だけで演奏される部分があることに気づかせるようにする。</p> <p>○リズムの違いや休みの後の出だしに気をつけて歌うようにさせる。 ※休みを感じ取って歌っている。㊦ ○4つのグループごとに演奏する部分と全員で演奏する部分を分ける。 ○他のグループが手拍子を打っている部分は、心の中で拍を数えるようにさせる。</p>
	<p>1 1 「かぼちゃ」のリズムうちパートを自分で選んだ楽器で演奏する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;">楽きの組みあわせを考えて、「かぼちゃ」をえんそうしよう。</div> <p>2 グループごとに音を出す順番や組み合わせを話し合う。 3 グループごとに発表する。</p> <p>4 歌のグループ、楽器のグループ、聴くグループに分かれて演奏する。</p>	<p>○音色の違いなどを考えて、おもしろい音の組み合わせを工夫させる。 ※歌にあった音や楽器の組み合わせを工夫している。 ○演奏前に工夫したところ、音を出す順番を発表させる。 ※工夫したところに気をつけながら、友だちの演奏を聴くことができる。㊦ ○子どもたち全員がすべてのグループを経験できるようにする。</p>

6 本時

平成18年11月20日(月) 5校時 14時10分より

音楽室

7 本時目標

- 時計の音楽やいろいろな楽器の音色に興味をもち、楽しく聴くことができる。  
(音楽に対する関心・意欲・態度)
- 身体表現をしながら、時計の音楽の音色やリズムの変化を感じ取ることができる。  
(音楽的な感受や表現の工夫)

## 8 本時指導の考え方

本時指導にあたっては、まず、ウッドブロックの音に着目させ、曲が時計の音を表していることをおさえる。その際、ウッドブロックの音にあわせて、楽器を演奏するまねをすることにより、リズムの変化に気づかせていく。そして、リズムの変化から時計がどんな時計かを考えさせ、こわかけた時計であることを押さえていく。

次に、ウッドブロック以外の楽器の音にも着目させていく。このとき、いろいろな楽器の音に着目させるために、曲で使われている楽器を実際に鳴らしたり、提示したりする。また、実際に演奏されている映像を見ながら、演奏のまねをさせることにより、より親しみをもって楽器の音にふれさせていく。

学習の最後では、ウッドブロックやいろいろな楽器の演奏をしているまねをさせたり、体をうごかしたりするなど自由な聴き方で、曲に浸らせていきたい。

- 9 準備物 ・「虫のこえ」の歌詞 ・時計の絵 ・ウッドブロック ・ホイッスル  
 ・トライアングル ・楽器の写真 ・DVD「小学校の音楽鑑賞表現 2年」  
 ・CD「シンコペーテッドクロック」 ・ワークシート

学習活動と内容	教師の支援と評価 ◎教師の主要発問 ※評価規準 関 …音楽への関心・意欲・態度 感 …音楽的な感受・表現の工夫 鑑 …鑑賞の能力 評価方法（ ）
1 「虫のこえ」を歌う。  2 「シンコペーテッドクロック」を聴き、どんな音がきこえたか発表する。 ・カッコカッコ ・ピューー ・リリリン  3 めあてをつかむ。	○前時で学習したことを振り返らせる。  ◎「いろんな音がきこえてくるよ。どんな音がきこえてくるか、よくきいていてね。」 ◎「どんな音がきこえてきたかな？」 ○自由に出させる。 ※音楽からきこえてくるいろいろな音に関心を示している。関（発言・観察）（A：音楽からきこえてくる音に関心を示し、具体的な言葉で表現している。B：音楽をききながら、いろいろな音をききとろうとしている。） ○時計の秒針の音に着目した発言がでたら、曲名が時計の音楽を表していることを知らせる。
時けいの音やいろいろな音に気をつけてきこう。	
4 前奏とAの部分を聴きながら、時計の音が演奏されていることを確認する。  5 時計の音が、どんな楽器で演奏されているかを考える。  6 ウッドブロックを演奏するまねをしながら聴く。	○秒針の音がきこえたら、挙手させて確かめさせる。  ◎「時計の音楽が、どんな楽器で演奏されていると思いますか？」 ○実際に楽器を見せる。 ○時計の音に合わせて指を動かすまねをさせながら、リズムの変化に気づかせる。

<p>7 シンコペーテッドクロックの時計はどんな時計か考える。</p>	<p>※ウッドブロックの音色，リズムの変化を感じ取って，身体表現している。<b>感</b>（観察）（A：音色やリズムの変化に合わせて，積極的に身体表現している。B：音色やリズムの変化に気づき，身体表現している。）</p> <p>◎「時計のリズムが時々おかしくなるね。じゃあ，この時計はどんな時計なんだろう？」</p> <p>○リズムの変化（シンコペーション）を押さえながら，だんだんと時計の調子がおかしくなっていくことをおさえる。</p>
<p>8 時計以外の音に着目して聴き，どんな音色があったかグループで話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ラッパのような音</li> <li>・カンカンという音</li> </ul>	<p>◎「ウッドブロックの音のほかに，どんな音がきこえてきたかな？」</p> <p>○弦楽器や金管楽器の音色にも着目させる。</p> <p>※曲からきこえてくる様々な音を見つけようとしている。<b>関</b>（観察・発言）（A：積極的に音を見つけ，どんな楽器で演奏しているか考えようとしている。B：曲を聴いて音をみつけようとしている。）</p>
<p>9 実際に演奏している映像を見る。</p> <p>1 0 映像を見ながら，楽器の演奏のまねをする。</p>	<p>※音楽にあわせて，演奏のまねをしながらいろいろな楽器の音色の違いやリズムの変化を感じ取っている。<b>感</b>（観察）（A：演奏のまねをしながら，きこえてくる音を予測し，楽器の音色の違いやリズムの変化のおもしろさを感じ取っている。B：演奏のまねをしながら楽器の音色の違いやリズムの変化を感じ取っている。）</p>
<p>1 1 時計の音やいろいろな楽器の音に気を付けて聴く。</p>	<p>○自由に聴かせる。</p> <p>※いろいろな楽器の音色の違いやリズムの変化を，自分なりの聴き方で感じ取りながら聴いている。<b>鑑</b>（観察）（A：音楽の流れによって，楽器の音色の違いやリズムの変化を感じ取って楽しく聴いている。B：楽器の音色の違いやリズムの変化を感じ取って，聴いている。）</p>
<p>1 2 学習プリントに分かったこと，や感想をまとめる。</p>	<p>※楽器の音色のちがいやリズムの変化を感じ取って聴いたことを書いている。<b>感</b>（ワークシート）（A：楽器の音色のちがいやリズムの変化を感じ取り，楽曲のよさと関連づけて書いている。B：楽器の音色のちがいやリズムの変化を感じ取って聴いたことを書いている。）</p>